



ファッション雑貨向けの素材を広範囲に取り扱い、織物や合成レザーについてはオリジナル品番を定番在庫で多色展開し、「必要なものを必要な時に必要な分だけ」供給。常に顧客に寄り添いながら歩んできた「ものづくり」への情熱を伺った。



ニシムラ株式会社 立石洋志

テキスタイルを中心に取り扱いがありますが、特にこだわっていらっしゃる箇所はありますか？

1970年に京都にあった会社の東京支店が独立する形でスタートをしています。豊富なカラー展開と厚い在庫が特徴ですが、すべてハイクオリティで小ロット・クイックレスポンスであること、にこだわっています。

今期のテーマは何ですか？

キャンバスなどの天然素材や、スポーツウェアに使われているメッシュ素材などをベースに、様々な特殊加工をミックスしています。今期は、フェミニンでラグジュアリーな雰囲気のある素材を中心に提案しています。



御社の商品に対して求められていることは何だと思えますか？

シーズントレンドを反映した提案、また小ロットでも対応可能なところではないでしょうか。スピード感も大切にしていますので、クイックレスポンスで供給していけるようにしています。また、今後はバッグ業界以外の方々にも企画提案をし、一緒に新しい「ものづくり」をしていけたらと思います。

ジャパンクオリティを発信していくために必要なことは何でしょうか？

日本独自のハイレベルな加工技術を生かしたオリジナル性の追求。そして、それを提案し続けることだと思います。東京レザーフェアは、様々な素材提案に対して、関心の高い人たちが集まる貴重な機会です。この場を有効に使って、もっと国内外に積極的なアピールしていくべきだと考えます。